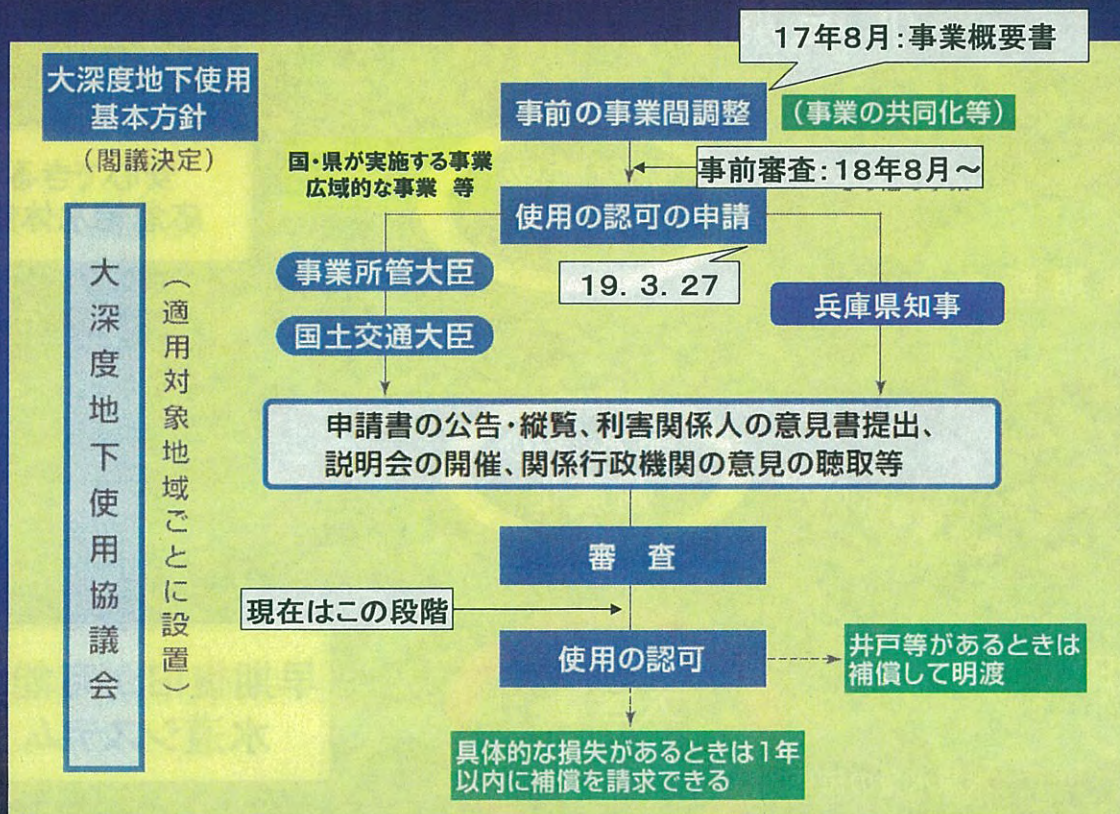


神戸市大容量送水管整備事業の概要

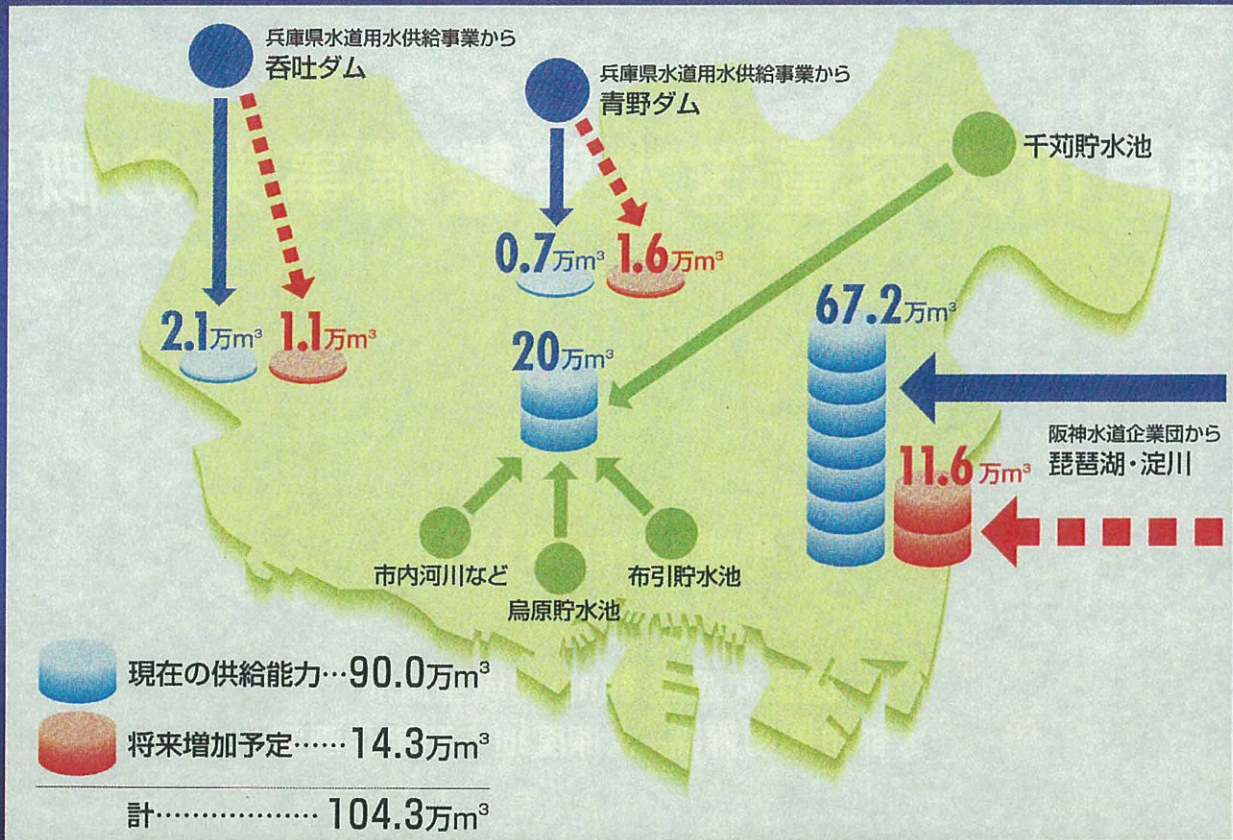
平成19年6月19日

国土交通省 都市・地域整備局
大都市圏整備課 大深度地下利用企画室

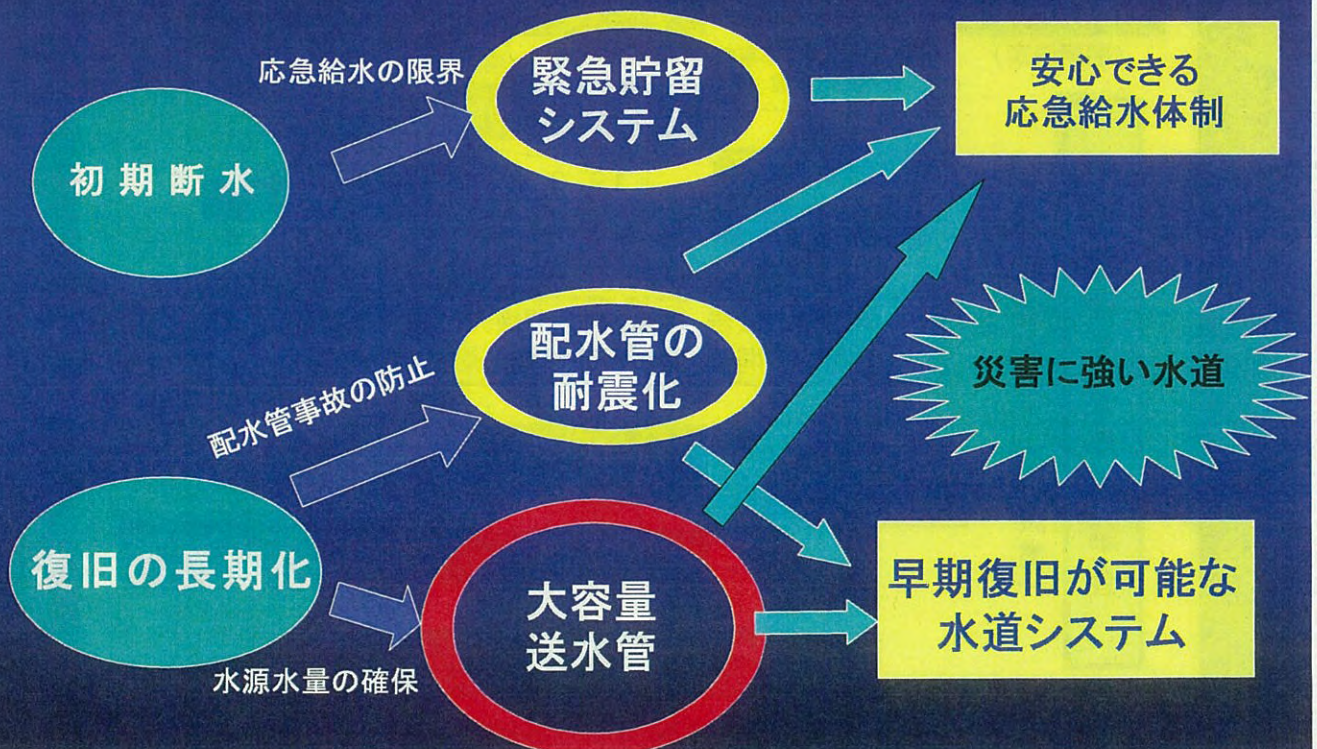
○ 使用認可の主な手続きの流れとこれまでの経緯



○ 神戸市の水源



○ 阪神淡路大震災の教訓に基づく 水道施設の耐震化施策



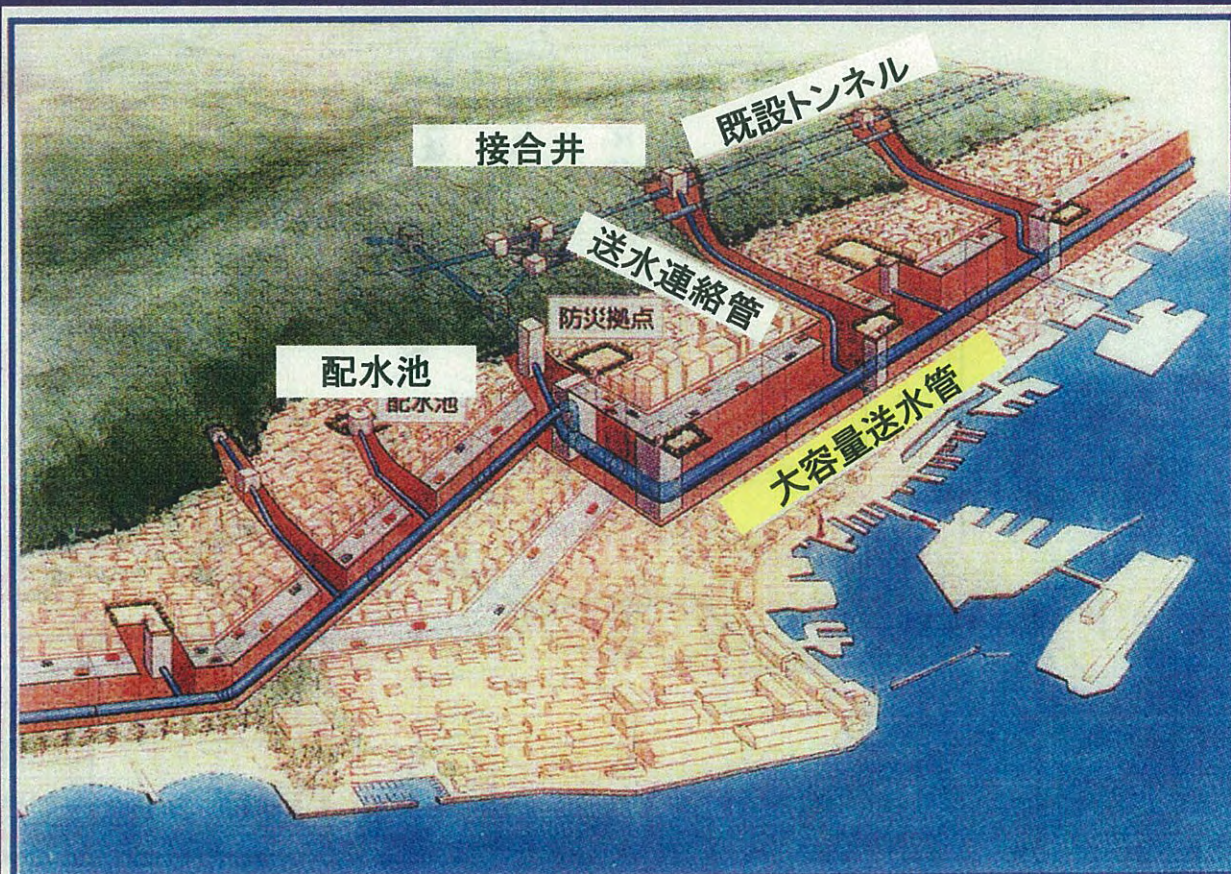
○ 大容量送水管

1) 主な機能

1. 既設送水トンネルの調査・更新
2. 送水施設の危険分散
3. 応急給水
4. 災害時の復旧期間の短縮

5

2) 大容量送水管のイメージ図



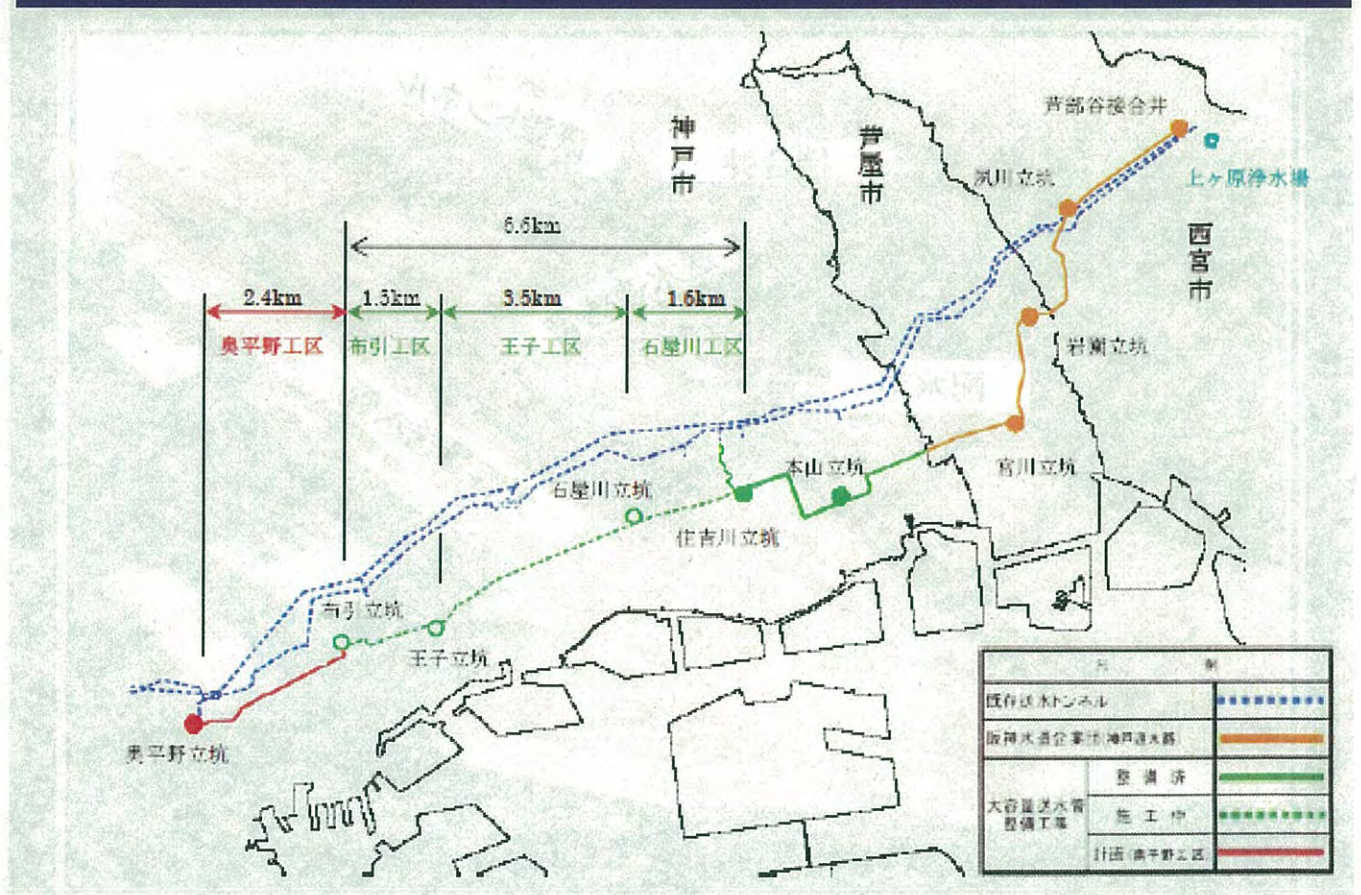
6

3) 大容量送水管整備事業 全体計画図



7

4) 全体ルート概要図



8

表. 大容量送水管事業概要 (芦屋市境 ~ 奥平野浄水場)

本線延長	12.8 km
口径 (直径)	2.4 m
計画送水能力	1日最大40万 m^3
事業費	400億円
工期	平成8年度~24年度 (予定)
貯留能力	59,000 m^3

9

芦部谷接合井 ~ 住吉川立坑

(供用中)



10

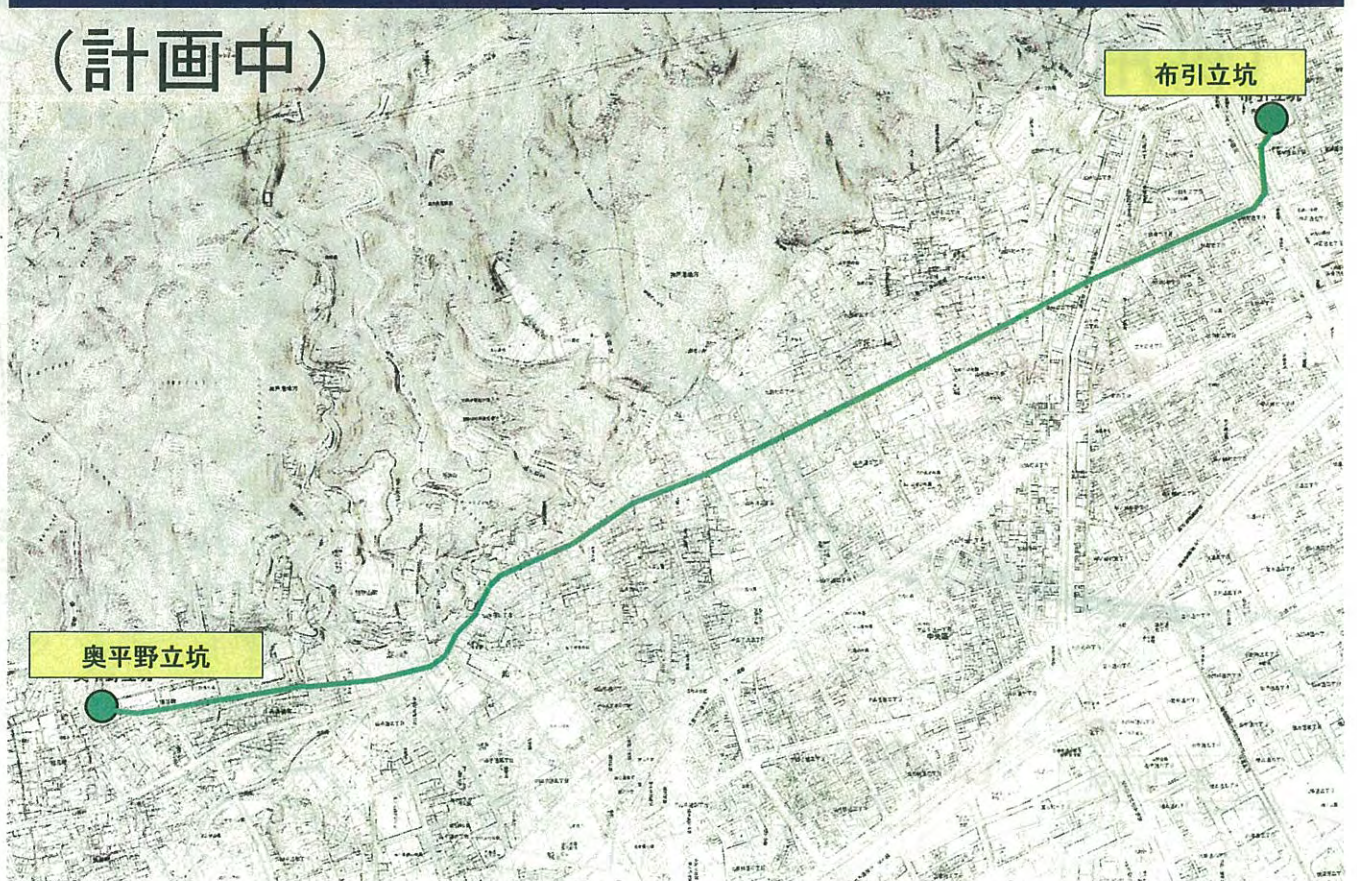
住吉川立坑 ～ 布引立坑

(建設中)



布引立坑 ～ 奥平野立坑

(計画中)

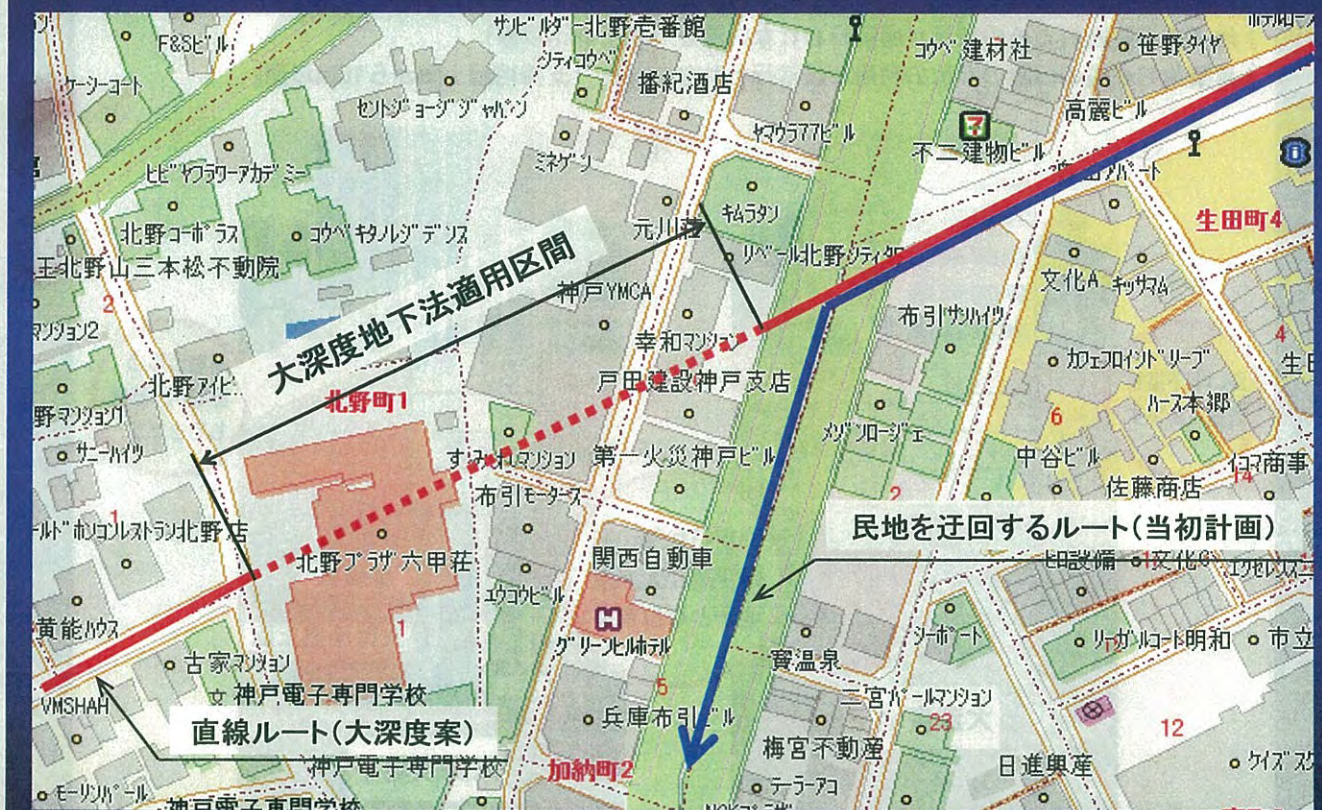


5) 大深度地下使用法適用区間



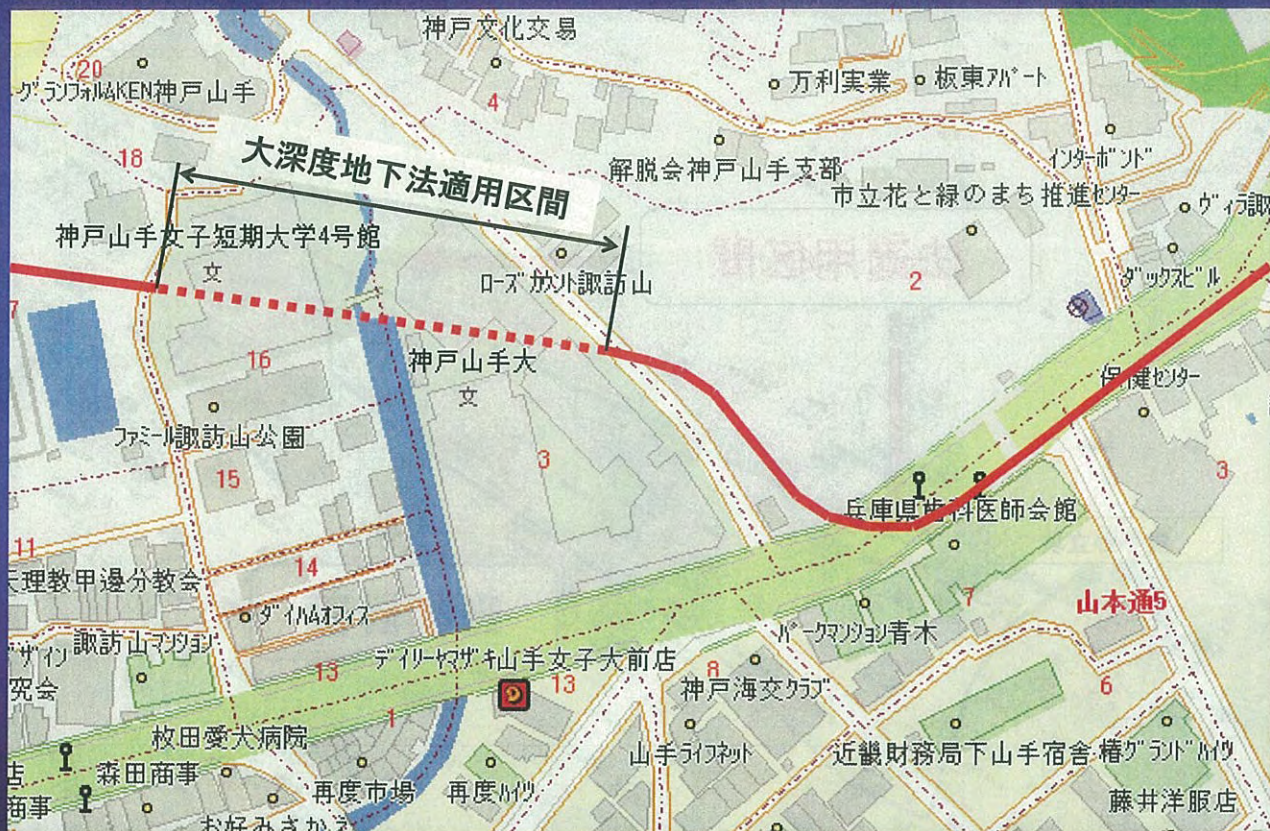
13

大深度地下使用法適用区間(東側)



14

大深度地下使用法適用区間(西側)

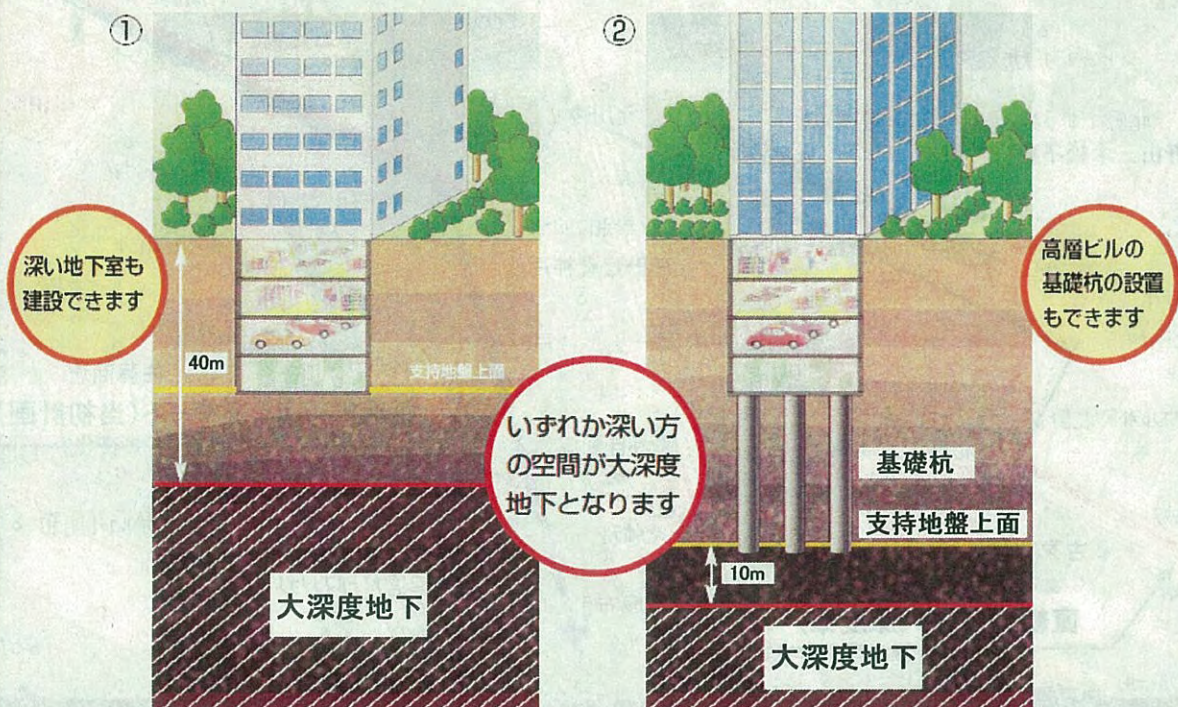


15

大深度地下の定義

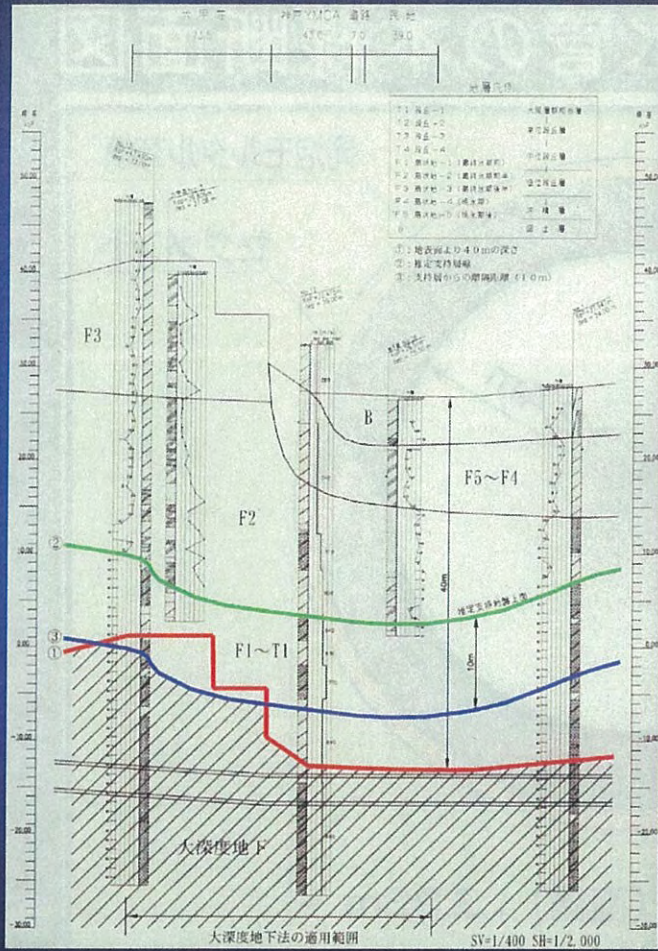
大深度地下は、次の①または②のうちいずれか深い方の深さの地下です。

- ①地下室の建設のための利用が通常行われない深さ（地下40m以深）
- ②建築物の基礎の設置のための利用が通常行われない深さ（支持地盤上面から10m以深）



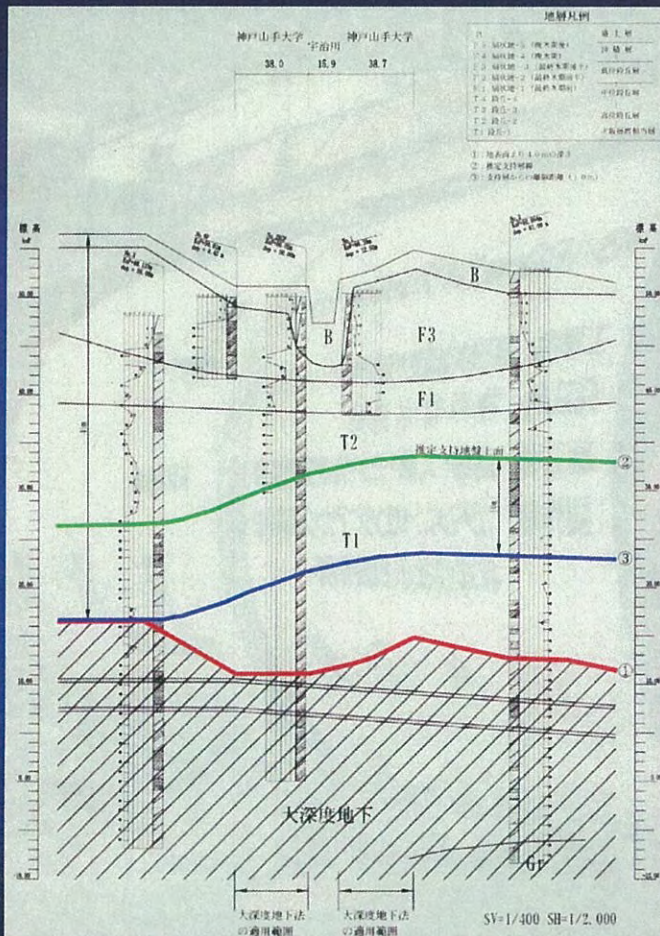
16

(東側)



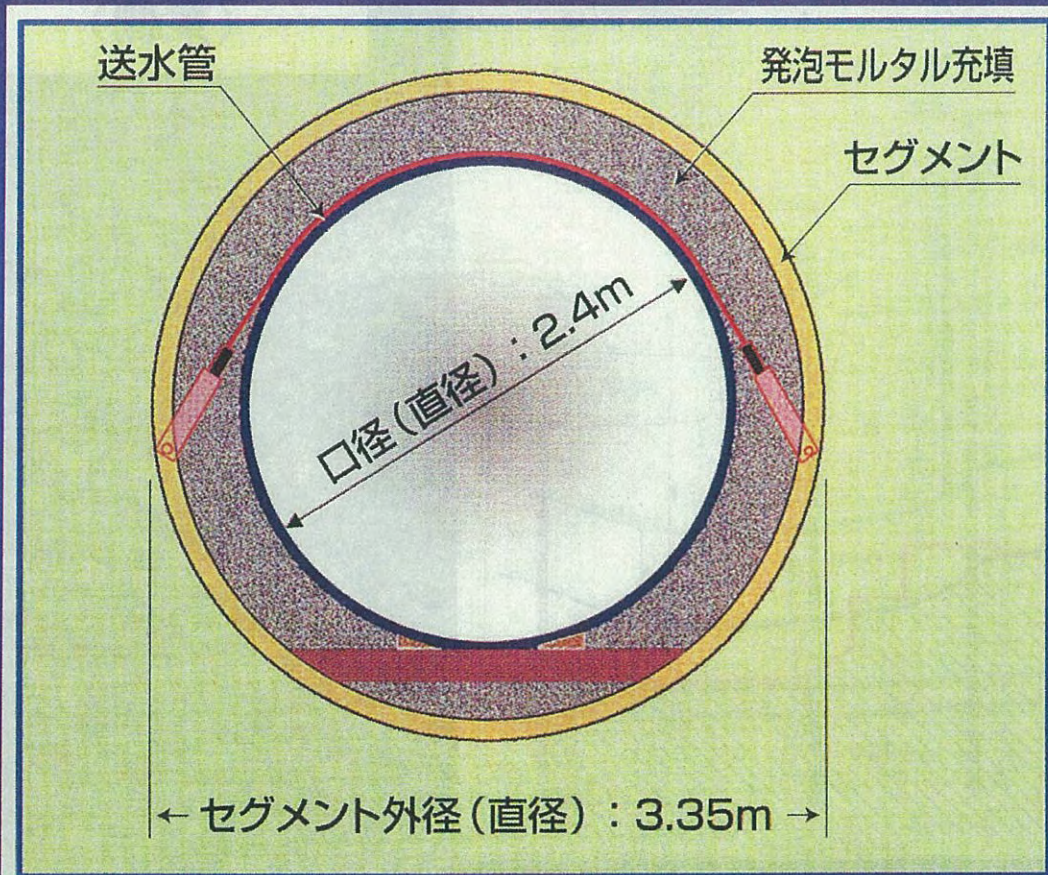
- ②推定支持地盤上面
- ③支持地盤から10m以深
- ①地表面より40m以深

(西側)



- ②推定支持地盤上面
- ③支持地盤から10m以深
- ①地表面より40m以深

6) 大容量送水管の本線断面図



19

泥土圧式シールドマシン



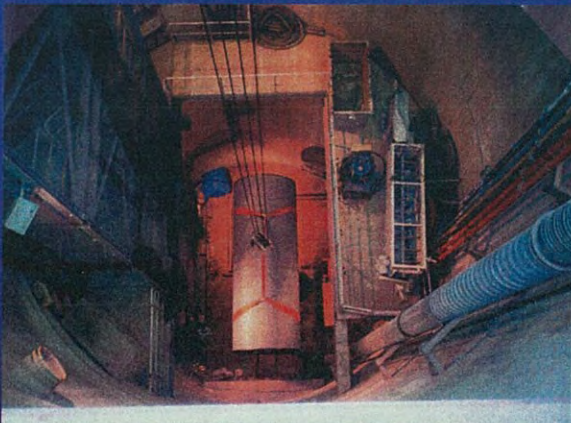
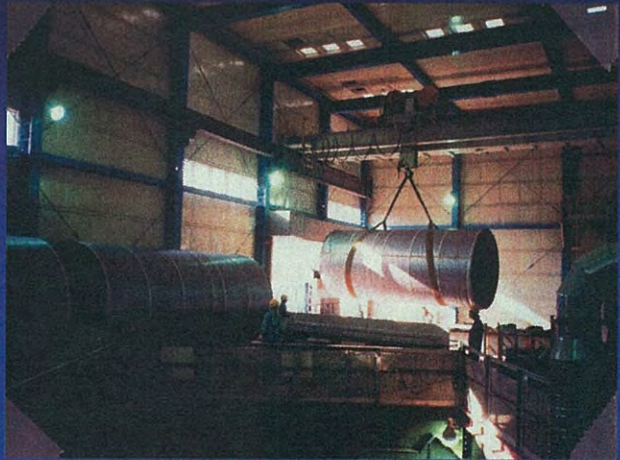
20

シールドトンネル内部



21

二次覆工

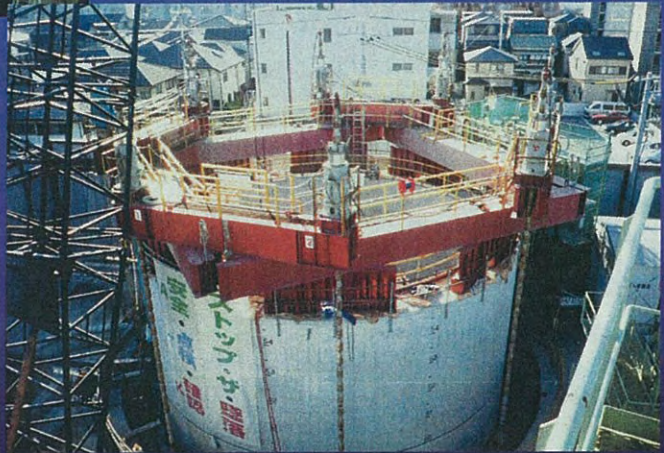


22

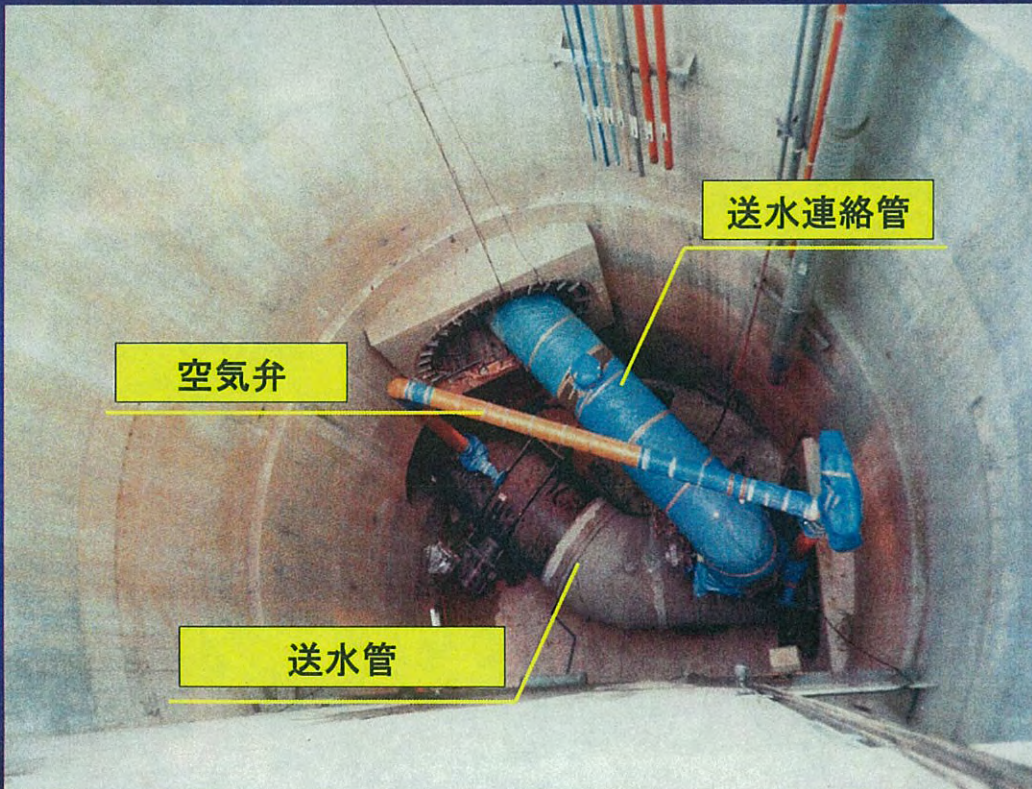


躯体築造

立坑沈設



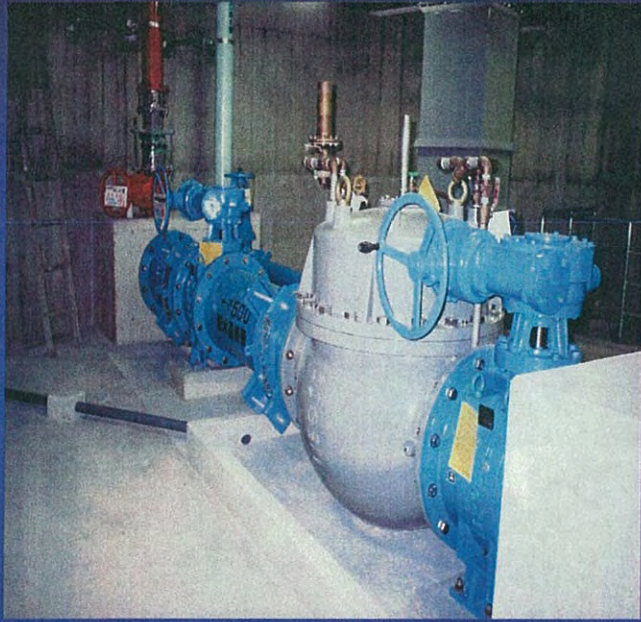
立坑



空気弁

送水連絡管

送水管



減圧弁

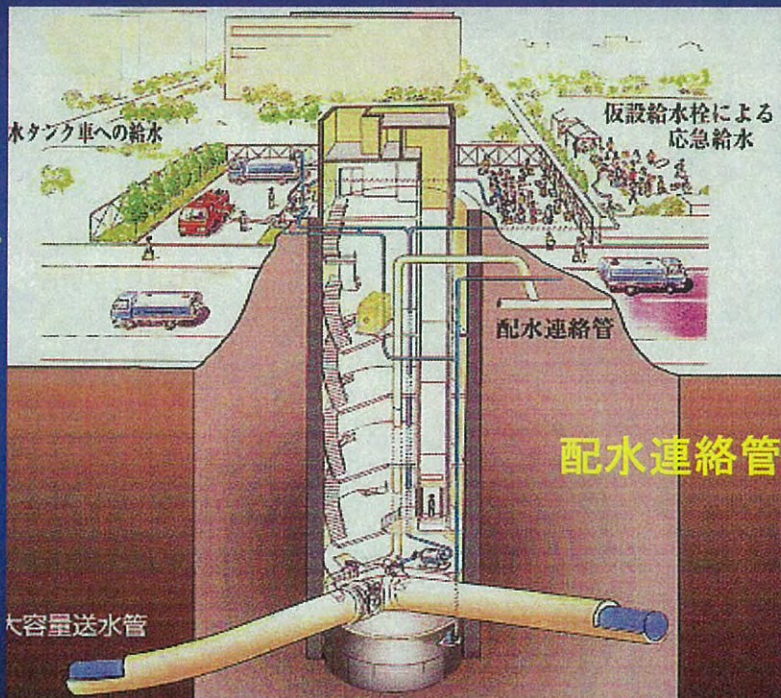
立坑内部

送水連絡管



7) 応急給水拠点

給水タンク車・消防車への給水



仮設給水栓による
応急給水

配水連絡管

本山立坑



応急給水拠点



27

○ 認可後の主なスケジュール

- ①認可後
 - ・ 認可した旨を通知 [兵庫県→神戸市(事業者)]
 - ・ 認可の内容を告示 [兵庫県]
(法第21条第1項)
- ②認可後
 - ・ 認可した旨を通知 [兵庫県→神戸市中央区]
(法第22条第1項)
- ③
 - ・ 図面の長期縦覧 [神戸市中央区]
(法第22条第2項)
- ④
 - ・ 登録簿の調製・閲覧・交付 [兵庫県]
(法第23条第1項)

28